



スペシャルオリンピックス日本・山口ニュースレター

第7号

2001年7月発行

げんき!!

事務局 〒754-0002
山口県小郡町大字下郷1511-4小郡印刷内
TEL(083)974-5712 FAX(083)973-3924
e-mail sonyamaguchi@mbg.nifty.com
発行 広報委員会



2001SOシンガポールナショナルゲーム招待

SON山口 水泳チーム海を渡る!!

ついにSON山口のアスリートが海を渡りました。
2001年5月31日から6月6日の日程で、第5回スペシャルオリンピックス・シンガポールナショナルゲームの招待選手として、小方基宏くん、大浜孝介くん、金井健一くん、山代真司くんの4名のアスリートと下川精三郎コーチ、三城弥範コーチの計6名がSO日

本選手団の一員として参加しました。

本大会は、香港、韓国、台北、日本、中国、マカオ、マレーシア、シンガポール、ニュージーランドの9ヶ国、640名のアスリート、190名のコーチの参加がありました。

5月31日10:50に福岡空港を出発。17:40シンガポー



ルの宿舎National University Singapore学生寮に到着。6畳程度のベッド、机、扇風機のある個室があり、室内は日本の夏の空調設備のない程に暑くはありません。

6月1日の開会式は、シンガポール大統領夫妻、各国大使出席のもとにより盛大に開催されました。

シンガポールでの前半はみんな緊張の連続でこのまま1週間大丈夫かな、と心配していましたが3日目の水泳競技では、山口地区の選手は「よりベスト・よりフレンドリー・よりエンジョイ」の目標をたてて、精一杯がんばりました。

また、他国の選手団とも挨拶をしたり、食堂では必ず現地のボランティアの人や他の国の人たちと接していくうちに、たくさんの人たちと友達になりました。4日目の陸上競技が終るとフリータイムとなりみんなでボーリングとサッカーに分かれて応援に行ったり、ショッピングに行ったり、食堂の食事に飽きてきたので外食したりしてシンガポールを満喫しました。

閉会式では市役所(?)前の広場に設けられた特設会場で盛大に、と言うよりも和やかに全員が楽し



く参加出来た閉会式となりました。閉会式は始まる前のピンバッジ交換から始まり、バイキング形式の夕食、各国のパフォーマンス紹介(山口は“明日があるさ”を熱唱しました)、ディスコタイムと進められました。ディスコタイムともなると会場はもう割れんばかりの熱気に囲まれ、テーブルは全て片づけられ会場全体が揺れるような状態でした。

日本のアスリート、コーチ全員が思い思いの踊りの輪の中に入って汗を流しました。19時から始まり帰りのバスに乗り込んだのは23時を過ぎていました。

今回のシンガポールNGがこんなに思い出に残るものだとアスリートもコーチも思っていなかったのではないかと思います。

WGとはまた違ったアジア独特な雰囲気(アジアの仲間意識)のNGに感じました。

これから日本も積極的にこの様なものに参加して多くのアスリート、コーチに体験してもらいたいと思います。

(この項は、下川コーチ、SON福岡・田代団長の報告等を基に広報委員会で再構成いたしました)



シンガポールへ行って

アスリート 小方基宏

はじめての海外なので、言葉が通じるか心配しながら行きました。

長く飛行機に乗ってやっとシンガポールにつきました。

シンガポールは遠いんだなぁと思いました。それに日本の倍暑いんだなぁと思いました。宿舎は大学の寮で部屋は一人一部屋でした。



食事は米がポソポソで日本食がこいしくなりました。

水泳は記録がよくなかったです。理由はゴールにきちんとタッチしなかったためと、すごく緊張して頭の中が真っ白になってしまったからです。

せっかく特練したのに記録がだせず残念です。でも、沢山の方が応援してくれ嬉しかったです。次ぎの大会では、いい結果をつくりたいです。

はじめての式では英語のパンフレットをもらいました。自分たちの名前もすべて英語でした。

記念にSOシンガポールの帽子を買いました。まだかぶってないけど気に入ってます。バッチ交換もしました。

閉会式では、僕たちは「明日があるさ」を歌いま



した。

シンガポールの街を見てまわったり、夜は日本人のシンガポールに住んでおられる方にナイトサファリにつれて行ってもらいました。

非常に暑い国で日にやけて体のかわがポロポロむけています。

海外に行って泳げてよかったです。コーチの方、ありがとうございました。

水泳大会 in Shingapore

アスリート 大 浜 孝 介

初めての外国でどうなるかとおもったけどすごく楽しかったです。

泊るところは国立大学の寮でした。シンガポールはすごく高温だったけど、個室の中は天井にファンが回ってるだけでした。

寮で一緒だったのは中国、シンガポール等でした。次に、自分のプログラムの水泳は6月3日に行われました。

25mと50mプールがありました。

最初に25mプールで泳ぎました。25は飛び込みなしで下から泳ぎました。

結果は銀メダル、50も同じでした。次回は必ず金メダルを持って帰りたいです。

最後の夜に買い物と観光をしました。\$札だけでも全部使おうと思ってありとあらゆる品物を買いました。観光ではサファリパークに行きました。いろんな動物を車で観光するサファリでした。シンガポールは法律は厳しいけどすごくおもしろくて楽しい国だということがわかりました。またいつか機会があれば行ってみたいです。

それと他の国とのバッチが交換できてよかったです。

2005年冬季世界大会長野開催決定

「2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会招致委員会」(委員長: 細川佳代子・スペシャルオリンピックス日本会長)では、かねてよりスペシャルオリンピックス国際本部(最高経営責任者: ティモシー・P・シュライバー、所在地: 米国ワシントンDC)に対し、2005年に開催される第8回スペシャルオリンピックス冬季世界大会の開催地として、長野市およびその周辺地域を会場とした実施案をもって応札、候補地としての選定を受けておりましたが、この

ほど、同大会の開催地として正式に決定いたしました。

6月15日、スペシャルオリンピックス国際本部最高経営責任者ティモシー・P・シュライバーと、2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会招致委員会代表・細川佳代子との間で、会計書類の調印を無事終了いたしました。

今後はこの調印締結を受けて、「2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会組織委員会」を組織し、来る大会の本番に向けて諸準備を開始いたします。

サッカープログラム開始!!

山口では4種目目となる、サッカープログラムが4月21日から毎週土曜午後3時から山口県立大学で行われました。竹本ヘッドコーチを中心に山口県立大学の学生がいろいろとメニューを考えながらよりよいプログラムを作ってくれているようです。がんばれ、SON山口サッカーチーム!!



4月21日

アスリートさんは13名の参加がありました。コーチは10名でした。

今回は初回なので、比較的基本的なドリブルやパスシュート練習を行いました。アスリートさんは積極的に新しいスパイクでボールを蹴ってられたように思います。

コーチも県立大学生、アスリートのお父様、車椅子サッカーの斎藤さんが参加してくれました。はじめてアスリートに接する学生も数人参加してくれましたが、臆することなくアスリートさんと関わって、一緒になってサッカーを楽しんでいました。

これから少しずつレベルアップしていきながら、ボールを蹴る楽しさを皆さんで味わっていただきたいと思います。

4月28日

今回は、アスリート11人の参加がありました。今回は、ゲームを取り入れていこうと思っていたのに、私のリーダーシップの無さに、基本練習のみとなってしまいました。しかし、今日の練習で、アスリートの出来る可能性を沢山見つけたので、次回からの練習は「よーし!」と思っています。新米コー



チなので、プログラムの途中で、アスリートに飽きられることのないよう、私も勉強しながら頑張ろうと思います。

5月12日

今日のサッカープログラムはとても良いお天気に恵まれて、アスリートもコーチも気持ちの良い汗をかきました。

アスリートは今日は6名しか来られませんでした。コーチの数は豊富で10名の参加があり、一人一人に対して、細かい対応が出来たと思います。

今回は、ボールを触る回数を多くすることを心がけて、練習内容を組み、待ち時間も出来るだけ減らすようにしました。そして練習の最後に紅白戦を行いました。3回目にしてようやく私も少しずつ自信をもって進めていくことが出来ているように思います。

アスリートの皆さんも、3回目となるとこの雰囲気慣れてきた様で、リラックスしたプレーや笑顔



を見る事が多くなっています。これから、ますますアスリートの上達が見られると期待しています。

サッカーでは、練習のときに着るお揃いのユニホームをつくることになりました。とてもかっこいいですよ。



5月19日

さて、サッカープログラムも第4回目に突入しました。前回と反対にアスリートは10人、コーチは6人でした。

今回はドリブル中心の練習メニューを組み立ててみました。待ち時間を比較的少なくと考えるとどんどんメニューをこなしていたのですが、昨日は今日と同じくとても良いお天気で、アスリートもコーチも少々ぐったり。アスリートも珍しくのどが渴いたといっていました。とても良い汗がかけたかなと思います。

そして最後に、サッカーの競技の中の一つ「ドリブリング」をしました。これは、2m感覚のコーンをジグザグドリブルしてゴールまで持っていき、一分間のうちで何回ボールを運べるかというものです。2mと言うと結構簡単のように想像すると思いますが、これがなかなか、私達でもちょっと難しい練習

です。完璧にゆっくりとこなす慎重派のアスリートや自分がジグザグに走っていくアスリートや様々で、好プレー珍プレー続出でした。



6月9日

先週の2日は県立大学が水無月祭の為お休みでしたので、2週間ぶりの開催となりました。本当にもうすぐそこに夏が迫っているようで、今日も一段とお天道様にいじめられて真っ黒になったような気がします。

アスリートは最終的に11人、コーチは9人の参加でした。今日も暑い中、ボールが四方八方に飛びながらも、楽しそうに練習に取り組んでいました。

今日は、今まで難しいかなと思っていたパス練習をしましたが、予想以上に皆反応が良く、ちゃんとサッカーの練習になっていて、今度から、どんどんいろいろな試みをしてみようかなと思っています。練習後に久しぶりに参加したコーチから、初回よりもサッカーらしくなっているとされたので、ああ頑張ってきてよかったなあと、最終回を迎えていない今から感激してしまいました。

(この項は竹本ヘッドコーチの報告を基に、広報委員会にて再編集しました)

2001シンガポールナショナルゲーム選手派遣費用寄付金拠出者ご芳名簿 (敬称略)

大石 博夫	横沼 満	綿田 道	津島 和	右田 勇	紫 煙	河口八重子	渡辺
村田 真記	斉藤 美苗	部坂 常子	重本 佳之	内田 妙子	武 蔵	黒田 慶子	西川 雅裕
山本 勉	内田 芳子	日野 美紀	吉松 晴彦	金石 英子	森 秀信	藤井 律子	竹永 吉伸
松村 久	水田 知佳子	山下 三恵子	大玉 真明	田中 美子	藤井 照彰	松本 真理子	上野 幸雄
下関唐戸魚市場(株)	歌田 須美子	藤村 美佐子	千 代	森重都志子	石田 大吾	高代 聡子	西村 幸敬子
山下憲太郎	大浜 洋子	長次 良雄	重原 和明	大沢 直誓	岡村 基一郎	足立 進	藤本 敬子
国弘 厚子	佐伯 紘子	木下 智代	(株)小郡不動産	徳永 利子	吉富 勝	足立 静代	池田 葵
江口タケル	緒方 満恵	新田 幸江	城市美代子	原田 博人	小郡衛生公社	山根佳志子	三隅 泰子
河村 隆子	新 良栄	小方 和子	藤川 真	松本 耕二	(有)ヤナイグループ	高山 清	
横山るり子	山口 政子	西村 博安	下川志磨子	浅野 真一	清水 深子	宮川 洋司	(5月31日振込分
西岡 邦子	栗井 洋子	岡本 浩一	河村 友子	村田 愛	三宅 靖彦	大島 隆	まで・ご協力あ
鶴 嘉世子	つばさの会	橋 清美	小西 友子	村田 愛	沖田 建設(有)	林 隆	りがとうござい
小林勢津子	光本 桂子	下川 清美	近藤マチ工	(有)フィット印刷	今城 明夫	楠本 由美	ました)
山下三枝子	井上 博夫	遠藤	松浦 愛子	八木 主税	小倉 淳司	阿武 京佳	

2001年春夏プログラム報告

早いもので、2001年も折り返し地点を迎えています。ボウリングと水泳よりプログラム報告が届いていますので紹介します。いつもがんばってくれているコーチのみなさんに感謝！感謝！

ボウリングプログラムを終えて

ボウリングコーチ 石城 映子

スペシャルオリンピックに気軽に参加させていただきました。私でも少しお役に立てばと思い始めました。始めてなのでいろいろな面とまどいもありどうしてやっていこうかと私なりに考えているのですがなかなか、教えることの難しさ、アスリートの方々と一緒に楽しんでボウリングが出来ればいい、私自身とっても勉強になっています。

指導と言うより自分も楽しみにしています。言葉の大切さを感じました。ストライクが出た時の嬉しそうな顔、私が休んだ時に「おばちゃん」淋しかったよ、「元気だった」今度会おうね、とても優しい言葉を掛けてくれて本当に嬉しいです。笑顔いっぱいそして手と手の触合うこの気持ち、人と人とのつながりを大切にしていきたいと思えます。

上達には長い時間が掛かります。ボールの選び方、投球の基本、人とそれぞれ違うのでゆっくりやりましょうね。スコアも気にしないよう無理せず長く続けていきたいですね。

始めよりずっと皆さん上手です。目を見張るもの



があります。

自己紹介もとても良く出来て感心しました。「日本チャチャチャ」「日本チャチャチャ」良かったよ。反省することも多いですが、交流を深めていきたいですね。ゆっくり楽しみながら又助け合って触合いを大切に人と人の輪をひろげながら、きっと違う道が開けてくるように。

お忙しい中御家族の皆さん又役員の皆さんいつも元気で頑張ってくださいませ。

水泳プログラム報告

ヘッドコーチ 綿田 道宣

みなさんこんにちは。

SON山口水泳プログラムは、第5回目のプログラムを5月27日(日)に終了しました。私は所用のため出席できませんでしたが、河村隆子会長、多田桂次郎理事はじめ皆さん方のご協力により、すばらしい感動あふれるプログラムだったとお聞きました。

シンガポールでの水泳大会には、小方基宏君、山代真司君、金井健一君、大浜孝介君の5名が参加されました。5月30日から1週間の遠征、お疲れさまでした。下川精三郎コーチ、三城弥範コーチの2名が引率・指導されました。ありがとうございました。4名とも大活躍だったと報告がありました。

昨年石川県で開催された西日本水泳大会は、今年は山口が引き受けて、8月19日(日)に小郡町営プールで開催されます。参加種目は、泳げなくても、15m歩行などいろいろありますので、石川大会に続いて多くのアスリートの参加を希望します。

6月24日のサンキューパーティー、水泳コーチミーティング、また第6回水泳プログラム、各種水泳大会などには、多くの皆さん方の参加をお待ちしています。

皆さん方のおかげで、楽しく充実した水泳プログラムになっていること喜び、感謝しています。ありがとうございます。



2001年



Special Olympics
Nippon / Yamaguchi

スペシャルオリンピックス

西日本ブロック山口水泳記録会

8月19日(日) 9:00~13:00

於:小郡町屋内プール

競技種目:

15m歩行・15m歩行(補助付き)
25m板キック・25m板キック(補助付き)
25m・50m・100m自由形
25m・50m平泳ぎ
25m・50m背泳ぎ
25m・50mバタフライ
100m個人メドレー
25m×4メドレーリレー
25m×4フリーリレー

参加チーム(予定):

スペシャルオリンピックス日本・石川
スペシャルオリンピックス日本・京都
スペシャルオリンピックス日本・兵庫
設立準備委員会
スペシャルオリンピックス日本・大阪
スペシャルオリンピックス日本・徳島
スペシャルオリンピックス日本・広島
スペシャルオリンピックス日本・福岡
スペシャルオリンピックス日本・山口

ボランティア募集

スペシャルオリンピックス日本・山口では上記大会をサポートして頂けるボランティアを募集しております。特に、競技中アスリートを誘導していただけるボランティアが多数必要です。スペシャルオリンピックスの理念や精神をご理解の上、是非ご参加下さいませよう宜しくお願い申し上げます。なお、ボランティア説明会を7月22日(日)13時より小郡町公民館にて行いますのでご参加の程併せてお願い申し上げます。

お問い合わせは三隅プログラム委員長(電話083-972-2659)まで
また、参加申込のFAXは事務局083-973-3924まで

今号は、財団法人マツダ財団の支援協力のもと製作されています。

事務局移転のお知らせ

この度、事務局を下記の場所に移転しましたのでお知らせいたします。

〒754-0002 山口県小郡町大字下郷1511-4 小郡印刷内
電話083-974-5712 F A X 083-973-3924
e-mail sonyamaguchi@mbg.nifty.com

ボランティアがたりません

ボランティア組織「スペシャルオリンピックス日本・山口」では現在ボランティアを募集しています。今、私たちが必要としているボランティアは以下のような方です。

アスリート(知的障害者のこと)といっしょにスポーツをしてくださる方

特にこれから、水泳・体操・サッカー・テニス・ボウリングをやりますので得意な方は大歓迎です。また、得意でなくても十分できますので、気楽に参加してみてください。

基本的にプログラムは日曜日に行われます。あくまでもボランティアですから、用事があって出

られない時はそれで結構です。無理せずに参加してみてください。

プログラムを進めるにあたっての受付や連絡などの事務的作業をしてくださる方

広報誌「げんき!!」の作成等を手伝ってくださる方

(原稿の執筆、写真・ビデオ撮影、ホームページ作成等)

事務局の手伝いをしてくださる方

資金面等での協力をしてくださる方

多くの方の参加をお待ちしています。

お問い合わせは事務局(083-974-5712)へ

編集後記

諸般の事情があり、約2ヶ月遅れの発行となっていました。楽しみに待っておられた方、申し訳ありませんでした。

この間、SOにとっているいろいろな事がありました。まず、水泳チームがシンガポールに行ったこと。理事会では「まだプログラムが安定していかないに行かせるのはどうか」といった意見から「せっかくのチャンスだから行こう」という意見まであり、激論を闘わせた上での派遣でありました。また、多くのカンパを頂いたことは本当にありがたいことでした。皆様方のご協力に感謝申し上げます。

サッカープログラムも始まり、SOの山口での活動も徐々に本格化しつつあります。しかしながら、その中で、いろいろな問題点も噴出してきています。「日常」の煩雑さの中でSOを見つめたとき、不平不満が出るのもある意味当然の事なのかもしれません。しかし、SOに関わる全ての方が、SOを楽しみに待っているアスリートの立場に立ってみて、改めて「ボランティア活動」の意義を考えてみると、必ず展望は開けると確信しています。8月には水泳記録会もあります。とにかく、皆さん力を合わせて頑張ってくださいませ。

(広報委員長 多田桂次郎)